

岐阜市下水道料金値上げの原因 について

北部プラントのりん回収事業は、平成 26 年度は 9 千万円の赤字です。一般的な産業廃棄物処理を行なった場合は、年 3 千万円の経費で済むとの説明ですから差額は毎年約 6 千万円にもなります。

北部プラントの汚泥に関する事業は、焼成レンガ事業では補助金を除いた市の支出は建設費 5 億 7 9 0 0 万円。15 年間稼働し収入 2 億 7 3 0 0 万円、支出 1 6 億 8 8 0 0 万円で収支は 1 4 億 1 5 0 0 万円の赤字。建設費と合計すると 1 9 億 9 4 0 0 万円の赤字でした。

現在のりん回収事業では、補助金を除いた市の支出は建設費 3 億 1 7 0 0 万円。5 年間稼働し収入 1 6 0 0 万円、支出 4 億 4 5 0 0 万円で収支は 4 億 2 9 0 0 万円の赤字。建設費と合計すると 7 億 4 6 0 0 万円の赤字です。

現在二つのプラントの赤字額合計は 2 7 億 4 0 0 0 万円になります。売れ残りレンガ 2 6 万個の例にありますように、レンガ事業でも、りん事業でも見直しの機会はありました。少なくとも 15 年のレンガ事業が終了した時、そして、りん事業 1 年目の予定収入 1 0 0 0 万円が、百万円で終了した時などです。

構造改革の判断を下せずに弱い事業を生き永らえさせた結果は、下水道会計を圧迫し、市民生活に結果をおしつけることになります。りんプラントは今後 5 年間は稼働との説明で、年 8 6 0 0 万円赤字が 5 年間で 4 億 3 0 0 0 万円の赤字増加となります。累計赤字は 3 1 億 7 0 0 0 万円にもなります。

公営企業として、政策の選択を誤ったことを素直に総括する必要があります。当面するりんプラント事業損失の圧縮への方針も示されるべきです。構造改革の機会に総括も具体的方針も、残念ながら示されていません。

以下は、レンガ事業、りん回収事業の累積赤字の一覧表です。



松原のりかず
☎058-253-2500

焼成レンガ事業・りん回収事業について

焼成レンガ事業の収支

施設建設にかかる収支

単位：百万円

区分	金額	備考
収入	775	国庫・県補助金
支出	1,354	建設費
収支	-579	

維持管理にかかる収支

単位：百万円

区分	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	合計	平均
収入	17	24	28	24	22	16	8	17	27	22	21	16	16	9	7	273	18
支出	86	98	98	116	119	107	113	124	130	114	115	120	114	104	128	1,688	113
収支	-69	-73	-69	-92	-97	-91	-106	-108	-103	-93	-94	-104	-98	-96	-122	-1,415	-94

りん回収事業の収支

施設建設にかかる収支

単位：百万円

区分	金額	備考
収入	388	国庫補助金
支出	705	建設費
収支	-317	

維持管理にかかる収支

単位：百万円

区分	H22	H23	H24	H25	H26	合計	平均
収入	1	2	4	5	5	16	3
支出	63	75	114	98	95	445	89
収支	-62	-73	-111	-93	-90	-429	-86

両事業にかかるまとめ

焼成レンガ事業

- 事業期間 平成6年度～平成20年度
- 建設費 13.54億円（うち、国庫補助金 7.45億円、県補助金 0.3億円）
- 15年間の収入の合計 2.73億円
- 15年間の支出の合計 16.88億円
- 15年間の収支 ▲14.15億円

りん回収事業

- 事業期間 平成22年度～
- 建設費 7.05億円（うち、国庫補助金 3.88億円）
- 5年間の収入の合計 0.16億円
- 5年間の支出の合計 4.45億円
- 5年間の収支 ▲4.29億円